

大人のための情報モラル通信

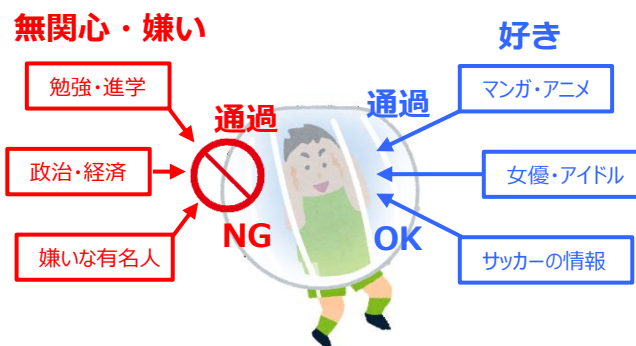
フィルターバブルと情報の偏りについて

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

動画やSNSサイト等を使用して情報を取り続けると、自分が興味のある情報ばかりが表示されるようになり、自分ではなかなかその**偏りに気が付きません**。

このように、自分が興味のある情報ばかりが表示される現象が**フィルターバブル**です。もちろん、そのような現象が偶然に起きているわけではありません。

～フィルターバブルのイメージ図～



興味のある情報ばかりが表示される理由は、SNS等に「自分のアカウントでログイン」して利用すると、**アルゴリズム**というプログラムが利用者を分析するからです。

なお、**アルゴリズム**に「興味がない」と判断された情報は自動的にはじかれて徐々に表示されなくなります。その結果、得られる情報に偏りが出る恐れがあります。



★自分で対策しないと子どもも大人も惑わされる★

動画やSNSサイトだけでなく、検索サイトも「自分のアカウントでログイン」して利用することが一般的になっているので、対策をしないとますます情報が偏るかもしれません。

具体的な対策としては、ネット以外からも情報を得る・普段使わないサイトを見る、**ログインせず**にサービスを利用する等が挙げられます。「全ての情報は偏向している」ことを前提に、様々な情報を比較することで、情報の偏りが少なくなります。

その他には「**プライベートブラウズ**」という機能を使用すると、**アルゴリズム**に利用履歴が分析されなくなるので、個人の内面を“一企業”に分析されたくない人にはオススメです。



好きな情報ばかりが表示されると楽しくて便利ですが、それは**「自分の興味が分析された結果」**だと知っておく必要があります。また、子ども達に**アルゴリズム**の役割を教えるだけでも、「**インターネットの情報**」に対する理解が深まるのではないのでしょうか。